

# 6

2004.6 [年1回発行]  
(社)日本作業療法士協会広報誌

# Opera オペラ



**特集**

スペシャル対談

荒木俊夫さんを迎えて

## 第二の人生で両上腕を 失いながらみごとに復帰、 大型農業の夢の実現へ

■死を思う日から生きる希望へ

■車の運転と農作業が出来る日を目指して

■日常生活には奥さんの大きな助けが

■大型農業の実現へ向かって

## SNAPSHOT



～シリーズ～

- 生活支援のアイデア  
いっぱいの福祉用具
- 片手でやってみよう

痴呆のお年寄りの生活を支えて  
弥栄発生活リハビリネット



手が不自由な人でも  
バスケットが楽しめる  
「リベラル仙台BBT」

車椅子ツイインバスケットボール

レッツ・クリエイティブ

inエルサルヴァドル

不幸でない国の  
明るくたくましい  
人々の中で考えた事

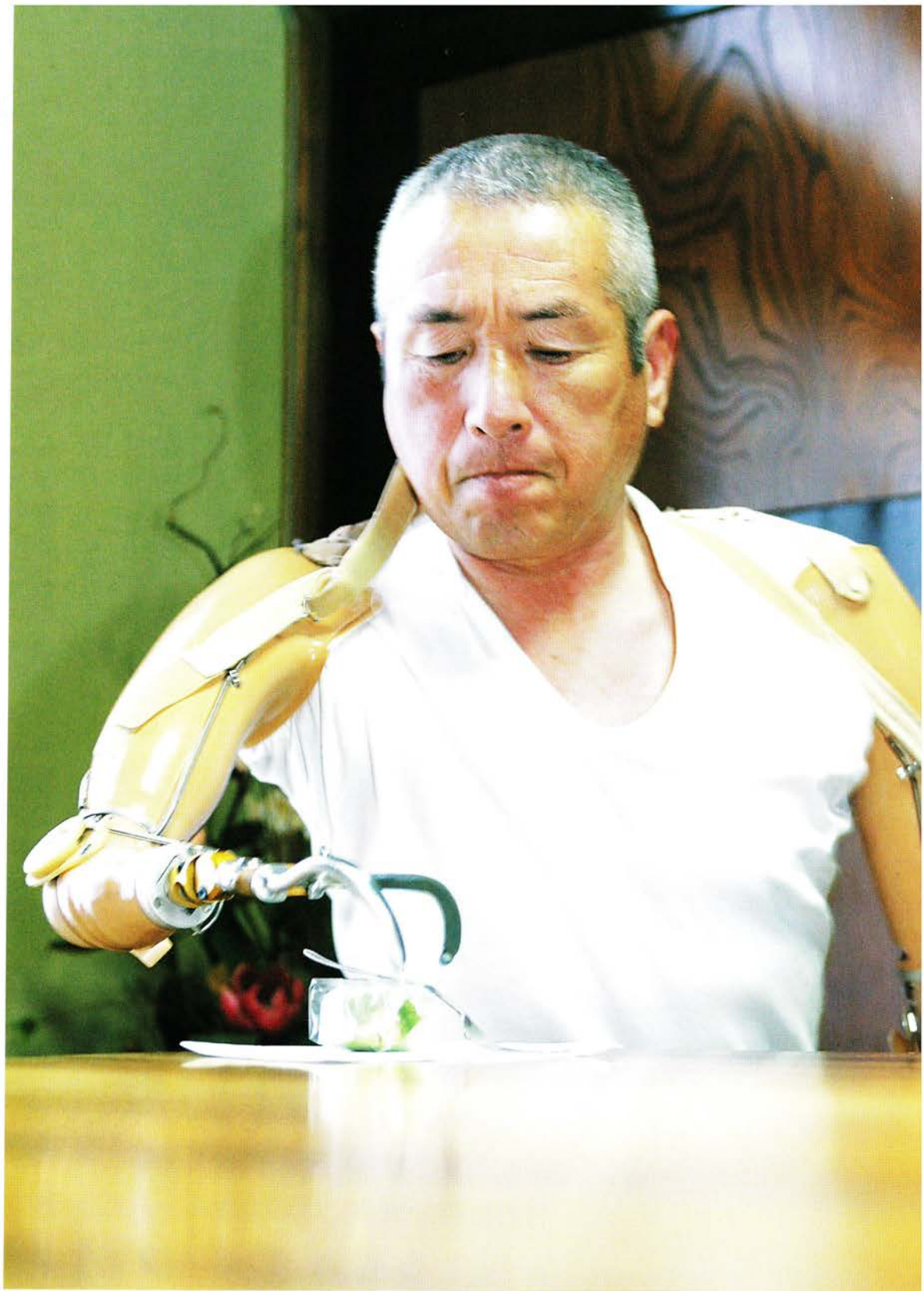
貧しさが

青年海外協力隊



# 第二の人生で両上腕を失いながら みごとに復帰、大型農業の夢の実現へ

◎特集



第二の人生を大型農業に賭け軌道に乗りかけたやさきに事故で両腕を失った荒木俊夫<sup>ひょうひょう</sup>さんは、長いリハビリの後、両側義手を操作して現場に復帰した。いまは飄々と語る荒木さんだが、ここにいたるまでにはご本人も奥様もたいへんなご苦勞をされた。まさに作業療法士の力量が期待される場面である。雪深い金沢で、荒木俊夫さんと杉原素子(日本作業療法士協会会長)が語り合った。



荒木 俊夫  
TOSHIO ARAKI



杉原 素子  
MOTOKO SUGIHARA

死を思う日から生きる希望へ

**杉原** 荒木さんは農作業中の事故で両腕を上腕部で切断されるといふ大変な事故にあわれて、治療と長いリハビリの後見事に現役復帰されました。これまでもマスコミ等で取材されていると思うんですが、事故までの経過からお話しただけですか。

**荒木** 私は旧国鉄で運転手をやつてまして、民営化してしばらくして退職（平成元年）し、父親から相続した広い農地をもとにして大型農業を始めようとしたんです。米やナシづくりに本格的に取り組んで、どこにか軌道に乗りかかった時でした。平成9年10月にトラクターで畑に肥料をやつていたとき、農機具の先に物が引つかなかつたんです。エンジンを止めなければいけないのに、簡単に取れるつもりで右手を伸ばしたところが、回転部にシャツのそでを取られ、ズルズルとひじまで入つてしまつたんです。エンジンをスローにしてたんでゆつくり抜けば止まるだつと、左手で回転部をつまんだら両腕ともすーと入つていってしまった。

血が出始めたんでこのままでは出血多量で死んでしまうと思ひ、必死にふんばつて引っぱり合ひつしてたら、ミチミチと両ひじの関節からとれてしまつたわな。大きな畑の真ん中で人が見当たらず、道が上がつたら隣の畑に人が見えたと、その人に血止めを頼んで大学病院に行つたんです。救急車を呼んでるひまもなかつたです。

**杉原** 普通ならとても正気を保つていられない状況でも冷静に対処されていますよね。そういう事故では死亡するケース

が非常に多いんですが、荒木さんの事故直後の対応が見事だったために助かつたと思うんです。なぜそんなに冷静でいられたんですか。

**荒木** 国鉄の運転手の経験から、飛び込み事故の処理とか、いろんな事故への対応が身につけているんですね。だから自分の場合も、これは血を止めることが先決と。病院で私を見た人たちが「あの人はもう助からないよ」と言つてるのが聞こえたときはたまらなかつたですね。結局、両うでとも肩とひじの間で切断する手術を受けました。両方の長さが5センチほど違つたんです。

**杉原** 手術でなくなつた部分が痛くなつたりかゆくなつたりする、いわゆる幻肢痛はどうでしたか。

**荒木** 術後、2、3日して始まりました。両手の先がかゆくてたまらなかつたんですけど、特に治療は行われなかつたですね。日に2、3回ですけど、始まるといくら自分にこれは空想だと言ひ聞かせてもダメで、イライラさせられました。2カ月後からリハビリを始めたんですが、進行ははかばかしくなくともんもんとしてました。  
**杉原** そういう落ち込んだ状態というのはどれくらい続いたんですか。立ち直るきっかけは何だったんですか。

**荒木** 事故から半年ぐらひは、よく落ち込んでましたね。なんも出来んなら死のうと、なんと海岸に行つたことか。でも、アベックやなんかたたくさんいるんで出来なかつたんです。半年後のある日、3キロほどふらふら歩いて海岸に出たら、ちよつと水平線に夕日が沈むところでした。いやあ、感動しました。なにも死ぬことな

いなと思つたら、体の中から生きる力がわいてきたんですよ。

車の運転と農作業が出来る口を目指して

**杉原** 入院中はどういうリハビリをされていたんですか。

**荒木** 手術後1カ月ぐらひして、装具をつけての訓練を始めました。夜床についてつくづく思ったのは、これまでやつてたことが全然ダメになつたと、これではダメだ。まず行動力をつけねばと、それには車の運転を出来るようになるつと思つたんです。運転免許の更新について地元の警察に問い合わせると、両手とも義手ではハンドルが回せないからダメということでしたが、長年列車を動かしてたんだから、絶対取つてやると逆に闘志がわいてきました。

**杉原** 車の運転をリハビリの目標にするにしても、まず日常生活行動が出来ないようにならないことは始まりませんよね。服を着たり、食事したり、書いたりといった日常生活行動の練習はどうされてましたか。

**荒木** 大学病院では、作業療法の訓練をみっちり2時間単位でやつてましたし、別の病院に移つてからも続けていました。作業療法士が作製したナイフ付フォークを使い、食べられるようになつたし、今は市販のフォークを義手で挟んで使つていま

す。服を着るときは最初にそでを通してもらつてからマジックテープで留めてました。今では、自宅に帰ると家内がやってくれるんで（笑）・・・。

書くのはもつぱらパソコンです。おかしな事に、病院では音声認識がうまく使えてたのに、帰つたら全然使えなくなつたんです。これはどうも、自宅では標準語が出てこないせいだと分かつた（笑）。いま



は義手で毎日日記を打っています。以前はメールもやってたんですが、毎日大量のメールが届くんで止めました。

**杉原** パソコンの打ち方なんかはどこで習ったんですか。

**荒木** 地元の障害者向けの職業訓練があったので、そこに応募したら試験があるんですよ。字が書けないからパソコンを習いたくて応募したのに筆記試験とはどういうことか(笑)。結局すべったんですが、わけを聞いたら体育の時間にみんなと一緒に行動できんからと言っんですよ。両手がないのは私ぐらいでみんなと同じことが出来ないんです。ちょっと傾いただけでこぼし、こぼるとまっ先に顔を打つんです。

このまま金沢においては車の運転も出来るようにならないし、じゃ、どうしようというとき、訓練設備の整った兵庫県立総合リハビリテーションセンターを紹介されたんです。そこで平成10年7月に入院しました。

**杉原** やつと将来の目標に向かって、見通しが開けてきたわけですね。

**荒木** ええ、でもそのときはまだ日常行動で自立できていなかったんですよ。作業療法士と研究所職員などの協力を得て、あらためて義手を作って、それを自分に合うように調整するのに、自分からいろいろアイデアを出したりしました。なんせ、両腕がないというのは兵庫の患者の中でも重いほうですから。自分で道を切り開いていかんことには。車の運転が出来るだけでなく、農作業も出来るようになること、欲も出てきたんです。

今では義手の装着は、たたみに寝た状態からひとりで出来るようになりました。食事にはフォークとストローを使ってい

ます。大好きな酒もストローで飲みます。義手の可動域は限られているんで、ひとつの動作をするんでも、義手を振っていったんロックをはずしてから動かすというぐあいです。グラスをもった腕は振れませんが、乾杯みたいなことはできないんですよ(笑)。

### 日常生活には 奥さんの大きな助けが

**杉原** 剪定用の鋏のついた義手は使い心

地はどんなぐあいですか。農業のほうはうまくいっていますか。

**荒木** 私は、事故前は大型農業のモデルとして、県から表彰されたこともあるんです。当時、田んぼとナシ畑が1町歩ずつあったのが、区画整理で3分の1を提供したやさきの事故でした。現場に復帰してからは、ナシの剪定用の義手だと30分ごとにひと休みしなければいけないし、やってくるうちに腕は重くてかなわなくなるし…。今はもっぱら家内にこ

こ切れ、あそこ切れと指示を出してますね。  
**杉原** それでなくても荒木さんの生活の中で、奥さんの助けは非常に大きいんですよ。

**荒木** ええ、それはそうです。訓練中は日常行動で自立できて、帰ってみれば家内があれこれやってくれるんで、どうしてもラクしてしまいますね。トイレはドアや明かりを自動にしたり工夫して自分で用を足せるんですが、日常の細かいことは家内まかせになってますね。





Profile **あらき としお** 荒木 俊夫さん (1936年石川県生まれ。)

- H元年 JR(運転手)退職後、農業に従事。米・梨など作る。
- H9.10 農作業機械で受傷、両上腕(長断端)切断。金沢の病院でリハをうけ義手作成するも十分実用に至らず、本人が兵庫リハの義手訓練について知り、希望。
- H10.7 兵庫県立総合リハビリテーションセンター中央病院入院。入院の目的:農作業・自動車運転ができるようになること。しかし、ADLも自立しておらず、まず、義手を使って調整してADL自立に至り、農作業用に義手調整。ADL用両手、農作業用片手の義手を作成する。
- H11.1 一度退院。
- H11.6 自動車運転訓練を行うため、身体障害者更生擁護施設自立生活訓練センターへ。
- H11.11 運転用両手義手作成し、自立に至る。免許再交付のため、リハセンターより金沢の運転免許センターに義手を使ったの運転状況のビデオの送付や、スタッフの説明により、本人の実施評価で免許交付に至る。



農林漁業功労賞表彰状

**杉原** 車の運転のほうはどんな状況ですか。  
**荒木** 平成11年6月に兵庫県立総合リハビリテーションセンターの自立訓練センターで運転を習ったんです。運転用の義手は、九州に同じ様な両手のない人が義手で運転しているところを、作業療法士が調べてくれて、その人に会いにリハビリセンターの職員と一緒に行きました。それを参考に一緒に考えて義手を作製してもらいました。そして、自分ひとりで運転できるようになり、免許の再交付のため、石川県の公安委員会に働きかけたわけです。義手を使っての運転状況をビデオに録って送ったり、身内のものが説明に行ったりいろいろ運動しました。その甲斐あって、私の実施評価で免許交付を受けることになったんです。

官なしでひとりだけでやっています。せっかく車も買って試験ですべったら目も当てられませんよ。義手をハンドルに固定するため、バックのときうまく後ろを向けないで難しいですね。パワーステアリングはハンドルが非常に軽くできていて、私の場合、特に水たまりや雪でハンドルを取られやすいし、スピードを出しているとカーブのときに早くハンドルが切れて危ないんです。家族はスピード出しすぎやて、怖がって乗ってくれません(笑)。

**大型農業の実現へ向かって**

**杉原** 現状には満足されていますか。平成14年には金沢市から農林漁業功労賞で表彰されていらっしゃいますし、荒木さんがこれからチャレンジしたいことって何ですか。  
**荒木** 土地をもっと広げたいんです。事故の前からやろうとしていたことなんです。大型農業にどんどんチャレンジしていきたいんです。今現在は近所に2町ばかり、あと5キロほど先にも畑が4町8反(50メートル×40メートル×8)あって、それと別にハウスもあります。  
**杉原** でも先ほどのお話ですと、奥さんがますます大変になりそうですね。ご自分では作業せずにあれこれ指示を出して、その通り動かされるとなると...。  
**荒木** まあ、家内は私の夢が大きいことには反対せんだが、からだが大変やと...。私のごと、オニ監督扱いするんです。これからは自分が出来んさかい頭を使う方法を考えんと。会社組織にして農業経営するというのがひとつの方法と思うんです。  
**杉原** あと講演活動の方はどうですか。  
**荒木** 今までに小学校で1回、高校で2回講演しましたが、まあ近頃の若い者の態度の悪さにはあきれてるものもよう言えませんね。先生に言われてどうにか感想文は書いてるようなぐあいです。  
**杉原** なにかスポーツはやってらっしゃ

いますか。  
**荒木** 事故前は陸上の長距離をやっていたんですが、今は何もやっていません。というのは、腕の長さが左右で5センチ違うんで、短い方に曲がってしまってます。走れないんです。まあ、ハウスの中で散歩するぐらいですかね。  
**杉原** 今日は荒木さんにいろいろ興味深いお話をうかがって、私もとても参考になりました。まだまだ両側欠損の方のリハビリは不十分どころがあるな、というのが率直な感想です。すでにアメリカでは電動義手がひろく普及しているようですが、日本ではまだまだ費用もかかりそこまでは行っていません。また、これまでおくれた金沢の義肢装具の水準が、荒木さんのいろいろなアイデアや注文を聞き、それを実現していく過程でどんどんレベルアップしていったことは事実です。荒木さんは相当貢献されていると思うんです。本日は本当にありがとうございました。

# 貧しさが不幸でない国の明るく たくましい人々の中で考えた事

## inエルサルヴァドル

作業療法士 藤井由佳さんの体験リポート

中米エルサルヴァドルに、少しの語学力と作業療法士として少しの臨床体験で赴任した藤井由佳さんは、日本の常識の通じない世界でとびきり陽気な人々に出会った。犯罪被害者の多さ、障害児の多さに驚きながらも、障害をまっすぐ受け止めるたくましい人々とのふれあいが、彼女の中の何かを変えていく……。そしてこの国を襲った大地震。日本の緊急国際医療チームと一緒にの医療活動も経験した。青年海外協力隊員としてもまれな体験リポートだ。



ふじい ゆか  
藤井 由佳さん

1995年 日本女子体育大学・体育学部体育学科卒業。  
1999年 柳川リハビリテーション学院卒業/作業療法士資格取得。  
重症心身障害児(者)施設・聖ヨゼフ園入職。  
2000年 聖ヨゼフ園退職。  
2000年7月～2002年7月 青年海外協力隊に参加。  
2002年11月 重症心身障害児(者)施設・諫早療育センター入職。



治療場面(脳卒中後遺症・左麻痺)女性52歳

期待を胸に、誰も知らない国へ  
私は2000年7月から2年間、青年海外協力隊に参加し、中米のエルサルヴァドル共和国に作業療法士として赴任しました。家族も友人達も皆「それどこ?」との反応。誰も知らないエルサルヴァドル。長い間、いつか協力隊に参加したいと思っていた私は、不安よりもそんな国に行

ける期待の方が強かったように思います。  
エルサルヴァドル共和国は人口約590万人。国土は日本の四国ほどの小さな国で、1年中が夏と言ってもいい気候です。貧困・治安・教育・社会・医療と多くの問題を抱えています。ギャグが大好きな陽気な国民性。同じギャグで何度も笑ってしまっ、そんな明るくたくましい人々です。



治療場面（パーキンソン病）男性80歳

## 臨床経験が少ない時期での派遣で苦労したエピソード

とにかく、全般的に経験不足のため患者さんの身体機能に応じた作業活動の選択に苦労しました。派遣前、私は小児施設で勤務していたので、身体障害の分野においては学生時の臨床実習で経験したことや、教わったことが全てでした。実際には治療はワンパターンなものになっていたように思います。しかし、派遣先は私以外には作業療法士がいない。さらに彼らの考える「作業療法」は単に「手の機能回復」という意識が強かったため、私が治療場面で行う更衣動作練習、重度脳性マヒの子どもさんに対しての家庭でのポジショニング指導、またひとり

座位が出来ない子どもさんに対してもお座りをとらせ、手を使って遊ばせる経験を持たせるといった姿は新鮮だったようでした。彼らの作業療法に対する知識不足・技術不足のおかげ(?)で私の立場は救われたのかなとも思っています(笑)。同時に義肢装具に関しても適応すべき患者さんは多くいましたが、ラッキーなことに義肢装具士が一人おり(義肢装具士も国内にはほとんどおらず彼はひとりで多くの施設を担っていた)彼と意見交換をするだけで製作はお任せしていました。ただ、適応すべき患者さんにも関わらず貧困のため材料費が払えないというケースが多くありました。これは私にはどうすることも出来ませんでした。



エルサルヴァドルの代表食PUPUSA(ププサ)の屋台

## 大震災の後、作業療法士としての活動

幸いにも私の町は比較的被害が少なく済みました。しかし貧困地域を2度に渡って襲った地震は国内全体を不安定にさせ、治安をさらに悪化させました。私の業務自体に直接的に大きな影響はありませんでしたが、地震によって障害を負った4歳の男の子を担当することになりました。彼は地震で落下した家の外壁が頭部を直撃。病院がない貧困地域に住んでいた彼は軍のヘリコプターで首都の子ども病院に搬送され手術を受け、一命を取り留めました。私の派遣先のリハセンターには受傷2ヵ月後にお母さんに抱っこされてやってきました。当時、手術の跡も痛々しく頭部は所々で陥没。左半身の運動と感覚の麻痺があり、寝返りできず、坐れませんでした。半側空間無視もあったように思います。さらに突然襲った自分の障害を理解できず泣いてばかりいました。わあわあど悔しがり泣きながらブラブラした自分の左手を右手で持つて投げつけていたことが、今でもとても

印象的です。彼のお母さんは学校教育を全く受けていなかったためか、彼には学校に行かせてあげたいと強く思っておられました。理解のある優しい方で、カタコトしか話せない私のことをとても信頼してくれました。幸い彼は作業療法を開始して早い段階から身体的にも精神的にも回復していききました。作業療法の効果というよりは彼自身の回復力です。転んでも体を引きずることも近所のお兄ちゃん達に混ざって泥だらけで遊んでいました。1年半後、最終的には左半身に麻痺は残りませんが何でも自分でできるたくましくてかっこいい男の子になりました。私の任期終了、帰国と一緒に彼もリハビリ卒業としました。今は小学生になっているはずですが、お勉強は嫌いそうなのヤンチャ坊主だったけど...



隊員による被災地での粉ミルク配布活動



レッツ・クリエイト

# 手が不自由な人でも バスケットが楽しめる 車椅子ツインバスケットボール

作業療法士高橋春信さんに聞く

車椅子バスケットボールにうちこむ若者たちを描いた

「リアル」(作・井上雄彦)という漫画が人気だ。車椅子バスケットボールのプレーヤーは足に障害のある人だが、頸髄損傷になると手の動きも制限される。

そこで手・足両方に障害のある人でも参加できるスポーツとして、

車椅子ツインバスケットボールが考案された。

今年5月、日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会も18回を迎える。

今回は出場チームの二つ、

「リベラル仙台BBT」の監督兼コーチをつとめる

作業療法士の

高橋春信さんをたずねた。



## ― 重度障害者も

### ハンディをつけて楽しめる

バスケットボールは実に激しいスポーツだ。コートに10人の大柄な選手が駆け回る。華麗なドリブルやシュート、肉体同士の激しいコンタクトがあり、めまぐるしく優劣が入れ替わる。車椅子バスケットボールも負けず劣らず激しい。車椅子を駆使してのドリブルやシュートは障害者スポーツの醍醐味だが、それだけに手にも

障害のある人には高い壁があった。参加したい人はたくさんいたはずだが、そのゴール(高さ305メートル)はあまりに高すぎ、動きはあまりに速すぎた。車椅子ツインバスケットボールは、そんな重度障害者の機能回復訓練の二環として考案(1980年頃)された国産スポーツだ。1987年には統一ルールのもとで初の交流試合が行われた。

まず、ツインの特徴はゴールが2組設け



「僕も学生時代にバスケットをやっていたけれど、それをやめたくちですが、その頃から

「エネルギーが発散できる場を提供する」

JR仙台駅から車で30分ほどの宮城県身体障害者総合体育センターが、「リベラル仙台」の練習場だ。ハの字形のホールで安定性を増したいかにもスポーティな車椅子を操って、メンバーたちが軽快に動き回っていた。練習を見守っていた高橋春信さんにお話を聞いた。

「僕も学生時代にバスケットをやっていたけれど、それをやめたくちですが、その頃から

「勝つ喜び、みんなと楽しむ喜び」

人気漫画「リアル」では、車椅子バスケットボールの選手の勝利への執念に燃える世界が迫力をもって描かれているが、車椅子ツインバスケットボールではどうなるだろう。

「同じチーム内でも障害の程度が同じ

「家でパソコンをやっているのもいいけど、やっぱり外に出ていろんな人たちと話をしたり、活動する楽しさも知ってもらおう。そのための安心できる場所がありますよ、と。エネルギーがあまり余っている若い人には、その発散場所を提供するところから楽しさを知ってもらおう。それがゆくゆくは生き甲斐になっていくわけですね。うちにも10年以上続けている人がいますよ」

健康者でもいきなりスポーツに誘われたら遠慮したくなりそうだが、障害者ではどうなんだろうか。

「家でもいきなりスポーツに誘われたら遠慮したくなりそうだが、障害者ではどうなんだろうか。」

「今年5月の仙台での大会では、1回戦突破が当面の目標です。こうして練習に来れる人は本当にツインバスケットが好きなんですよ。車の運転が出来ず家族の手をわずらわせるからと来なくなる人がいますけど、家にこもらず外に出てほしいし、それには家族の協力が欠かせないんです。少しでも多くの人にツインバスケットの楽しさを知ってもらいたいし、それには我々がガンバっていい試合をするしかないかな、と思っています」

「今年5月の仙台での大会では、1回戦突破が当面の目標です。こうして練習に来れる人は本当にツインバスケットが好きなんですよ。車の運転が出来ず家族の手をわずらわせるからと来なくなる人がいますけど、家にこもらず外に出てほしいし、それには家族の協力が欠かせないんです。少しでも多くの人にツインバスケットの楽しさを知ってもらいたいし、それには我々がガンバっていい試合をするしかないかな、と思っています」



たかはし 春信さん

2000年 国立仙台病院付属リハビリテーション学院卒業。作業療法士資格取得。蒲谷町町民医療福祉センター入職。



# SNAPSHOT

ふじいさんち

## 痴呆のお年寄りの生活を支えて

— 弥栄発生活リハビリネット —

島根県の西部、中国山地に抱かれた人口1800人ほどの弥栄村。

ここにNPO法人「弥栄発生活リハビリネット」が運営する24時間痴呆対応型グループホーム「ふじいさんち」(平成13年8月開所)がある。8つの個室に暖炉のあるリビングルームを備えた瀟洒な洋風二階建。

ここで平均年齢86歳の8名(女性7、男性1)のお年寄りが共同生活を送っている。

NPOの理事で作業療法士の伊藤晴子さんを中心に、代表理事の岩田芳江さんにも加わっていただいております。



NPO法人弥栄発生活リハビリネット(ふじいさんち)



左から岩田さん、澤さん、幸田さん、伊藤さん

- 岩田 芳江さん 代表理事  
民生委員歴18年。その間保護司、権利擁護事業の生活支援員を兼任。2001年NPO法人弥栄発生活リハビリネットを設立。
- 伊藤 晴子さん 作業療法士  
OT歴20数年。精神科の病院、在宅介護支援センターでの勤務を経験。
- 幸田 るり子さん 作業療法士  
OT歴15年。精神科の病院・介護老人保健施設での勤務を経験。
- 澤 治子さん 作業療法士  
国立リハビリセンターにて27年勤務。その後、国立療養所松江病院でディケアを12年経験。現在島根リハビリテーション学院の講師。

これが第二の故郷、でも家に帰りたい……  
— ます「ふじいさんち」が出来た経緯からお聞かせください。

**伊藤** リハビリネットを作る前、私は村の在宅介護支援センターに勤めていたんです。介護保険の導入でそれまでやってきた在宅サービスが難しくなると、もっと制度に寄りかからない形での介護を実現できるような組織を作れないかと、同じ思いの民生委員の岩田さんや作業療法士の幸田さん(副理事)と一緒にNPOの発起人になったんです。すると勤務医や看護師、社会福祉士、歯科衛生士など、地域福祉・医療に携わる人たちが大勢賛同してくれました。9人の理事で事業を運営してまして、これには行政は一切タッチしていません。この建物の前の道の舗装になんとか50万円補助してもらいましたが、その他の補助金はもらってません。お金は出しても口は出して欲しくない(笑)、それが本音ですね。この建物はもともと大阪から転勤してこられた藤井さんという方が建てられたんです。また大阪に戻られたんで、私たちが5年契約でお借りしてらんです。

— 実際に運営していかがですか。

**岩田** こういう施設が必要なのは理事の誰もが痛感してきました。私たちのような一匹狼的な施設ではなく、本当は地域で施設を作るべきだと思っただけです。でもそれにはパワー不足だし、人的資源も不足しています。でもこれからの高齢化社会を考えると、小学校区ぐらいの割合でないといけないと思うんです。問い合わせがあっても満員で入居をおことわりするのが辛いですね。

**伊藤** めずらしいことに開設当初からスタッフも入所者も入れ替わりがなくて、途中で入院された方でもここに戻ると復活するんですよ(笑)。まるで第二の故郷(笑)…。それでも皆さん、家に帰りたいっておっしゃいますよ。それは物理的な家ではなくて、自分が生き生きしていた時代、家族の一員でガンバっていた頃の家を指しているんじゃないかと思うんです。皆さん、決まることが最高だと思っはてはいないと思っはいますよ。

**瞬間瞬間での関係づくり、微妙な動機づけの連続**

—利用者の方とどのように関わっていますか。  
**伊藤** ここでは生活イコール・リハビリテーションなんです。その方が出来ることを見きわめる目は、スタッフ全員が持つてると思っんです。例えば料理するとき、この人はりんごの皮むきが得意とか、包

丁は使えないけど白菜をちぎれるとか、分かてますからお願っするんですよ。「やゝつて、くださいませんかゝつて(笑)」、しなさいなんていう命令は全然通用しませんよ。赤ちゃん言葉なんかは論外。地域のお年寄りに接するのと同じで、親しくなつたらぶつちやけた話し方もしますし、その人を大事にしながらの自然な話し方ですね。

—相手によつて合う合わない、相性があると思っんですけど。

**伊藤** 特定の人と親しくなりすぎるとその人しか見えなくなるので、距離の取り方は本当に難しくて毎日毎日が研修(笑)。十人十色で、出身地も地元だけでなく、東京、鹿児島から来られた方もいらつちやいます。みんな個性が強くてケンカは多いし、いじわるはするしで。同じ人でも午前と午後で全然人が変わつてしまつこともありますよ。はつきり言つて、人間関係がベースでうまくいつてないと何にも出来ない空間ですね。



ここに来る前はほんの数時間しかお年寄りを見てなかつたんです。ここでは24時間生活を見るわけで、本当にいろいろな発見をしましたね。朝、昼、夜の顔がみんな違う。その瞬間瞬間で関係を作つ



ていかなきゃいけないんです。相手はさつき作った関係のことも忘れてしまつてますから、また新しい関係を作つていかなきゃいけない。すぐエネルギーを使いますよ。おだやかにお茶を飲んでるように見えても、一緒にお茶を飲もうというところにセッティングするまでの苦労たるや…。一事が万事、本当に微妙な動機づけの連続なんです。

—家族や地域との関係はどうされていますか。  
ないかが決まるんです。

**岩田** 家族宛には毎月通信を送つてます。入所者がどういふ状態かは来て見てもらいたいし、わりと家族はよく来られますね。地域には出来るだけ出るようにしてまして、美容院なんか普通のお客さんと一緒ですし、当初あつた偏見も最近はなくなつてきてますね。それから村の全700戸と県域の施設、介護保険の事業所向けにカラーコピー機で作つたこのコース「やまさ」とたより」を配布しています。今年度は新たに公民館と連携して健康セミナーを企画中です。ここで私たちが培つてきた知恵やノウハウが、同じ仕事で頑張つてる人たちが家族の人たちに役立てばうれしいし、私たちも学ぶべきことはいっぱい学ばいたいと思っています。

# 思わず使ってみたくなる、快適生活を支援する用具たち



皿 定価 ¥ 1,155 (税込)



鉢 定価 ¥ 1,050 (税込)



4カ所滑り止め

## 【やさしい食器】

広いへりで手がかけやすく、ラクに持てます。又、滑り止め付きなので、片手でお食事しても、ズれる心配はありません。

■お問い合わせ  
製造販売元: (株)リッチェル  
☎.076-478-2957

今回のテーマは「うつわ(器)」です。ふだん何気なくできていることが、年をとったり障害をもつことで困難なものに変わる場合があります。お年寄りや障害をもつ方々の生活を支援するアイデアいっぱいの福祉用具には、開発した人々のひらめきとにより愛情がこもっています。ここでは、だれでも思わず使ってみたくなる、そんな便利グッズを選んでみました。

# いっばいの福祉用具

## 【ほのぼのの食器】

つとりの質感とほどよい重量感、とびきりの強度。その優れた特性と安全性が認められたメラミン樹脂を素材に、スリムで快適にすくいとれる形状をめざしました。器を手にした時の滑り止めとして、底面外周に細いミソを入れました。

お問い合わせ  
製造販売元: (株)青芳製作所  
☎.0256-63-3442



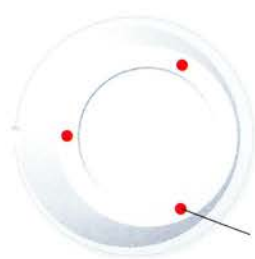
定価 ¥ 1,890 (税込)



ミソ部分



深皿 定価 ¥ 1,470 (税込)



3カ所滑り止め

## 【すくいやすい皿】

傾斜した底で片側が深く(深さ2.5cm)片手でも楽に食事ができます。底に3ヶ所、滑り止めのゴム付き。

■お問い合わせ  
製造販売元: アビリティーズ・ケアネット(株)  
横浜支店  
☎.045-943-1150



鉢 定価 ¥ 1,365 (税込)



小鉢 定価 ¥ 1,155 (税込)



大皿 定価 ¥3,200 (税込)

### 【自助食器】

強化磁器で家庭的な雰囲気を残しつつ、通常の食器より深底にし又片側面を内側にいれることで、少量の食物でもすくい易く、こぼれにくいデザインです。「すくい上げて口に運ぶ」という食事の基本的な動作を円滑に行えることを第一に考えています。

■お問い合わせ  
製造販売元:三信化工株式会社  
☎.03-3433-0084



中皿 定価 ¥2,600 (税込)



小皿 定価 ¥2,000 (税込)



定価 ¥2,100 (税込)

### 【自立食器(木製深皿)】

木の特徴、熱伝導率の悪さを利用し食事に時間がかかる方でもおかすが冷めにくい食器です。流動食にも適した切口のついた形体は最小限の手の動きで口元まで食事を運ぶことができます。大きさ、重さも直接口元へ触れることを想定しこぼれにくく持ち易い工夫がされています。スプーンでの食事をより容易にするため、おかゆなどの流動食には最適です。

■お問い合わせ  
製造販売元:(株)アサヒ興洋  
☎.0770-67-2882

# 生活支援のアイデア



小鉢(プラスチック) 定価 ¥2,625 (税込)  
サイズ: φ123×H67mm



シリコン加工



大皿 定価 ¥2,835 (税込)  
サイズ: φ215×H55mm



小皿 定価 ¥1,575 (税込)  
サイズ: φ128×H35mm



中皿 定価 ¥2,100 (税込)  
サイズ: φ164×H45mm



### 【らくらく食器】

◎大・中・小皿は、スプーンで自分の方向に寄せるとスプーンに自然にすくえるように工夫しており、多少の汁物も大丈夫です。

◎小鉢(プラスチック)は、スープ又はシチュー、ヨーグルト、汁物が主体の小鉢の役目です。自ら吸い口より吸い上げられるように工夫されています。食器底面はシリコン加工がしてあり、滑りにくくなっています。

■お問い合わせ  
製造販売元:有月陶器  
☎.0572-58-0245

# 片手で やってみよう

6

## どうやって●かぶせるの

■片手でお皿にラップをつけようとすると切りづらく、手間取るうちにラップ同士が張り付いてシワになってしまうことも・・・  
どうすればラップをかぶせることができるのでしょうか？



ここからチャレンジ! さあ、やってみよう!!

1 ラップを引き出す

すべり止めを敷いてお皿を固定し、ラップ面をそっと引き出します。刃の面を上にして箱を置くと引き出しやすくなります。

2 お皿のふちにラップをとめる

お皿にかぶせる分を引き出し、お皿のふちにラップをつけて固定します。

3 ラップに張りを作る

ラップに張りを作って箱を置きます。

4 ラップに切れ目を入れる

前方のラップをつまんで切れ目をいれます。

5 前方から手前にラップを切る

箱を押しこむように前方→中央→手前へと切っていきます。箱の前方を少しずつ外側へ向けながら切ると、上手く切れます。

6 切ったラップを整えながら

お皿に張り付けてできあがり!

ケガで片手しか使えない時、困った経験はありませんか? そんな時のちょっとしたアイデアを紹介します。

■保存や温める際に使うラップフィルム。あなたなら片手でどのようにかぶせますか？



## パンフレットのご案内

### 「協会パンフレットをご活用ください。」

パンフレットは写真の「作業療法ガイド」「作業療法士(OT)は、あなたにあった福祉用具や住宅改修を提案します。」「訪問リハビリテーション作業療法(OT)のご案内」「作業療法ガイドミニ版」「精神に障害のある人の地域生活を支援する作業療法」の5種類があります。作業療法の啓蒙活動にご活用ください。お申し込みは協会事務局まで。今後も順次、種類を増やしてまいります。



■お申し込み  
日本作業療法士協会(事務局)  
☎03-5826-7871

■日本作業療法士協会  
広報誌「Opera」4号、5号

## 医療・福祉・保健サービスの向上を目指して

(社)日本作業療法士協会は、国家資格である作業療法士からなる職能団体で、昭和41年9月に結成されました。昭和47年に世界作業療法士連盟(WFOT)に加入し、昭和56年には厚生省より公益法人として認可されました。

当協会は、作業療法士の学術研鑽ならびに人格資質の向上に努めながら、作業療法の普及・発展を図るとともに、医療と福祉の向上、国民の健康の発展に寄与することを目的としています。

作業療法士は乳幼児から高齢の方にいるまですべての人々で、身体または精神に障害がある方や将来、障害が予想される方に、医療ばかりでなく、福祉・保健領域にわたり幅広いサービスを提供いたします。作業療法は、作業活動を用いて身体・精神の諸機能の回復や維持・開発を行うための、治療・訓練・指導および援助です。作業療法の活動の場は、病院から地域、医療から福祉の場へと大きく広がっています。高齢の方々や障害者の方々に合った福祉用具の選定や適合、各種の福祉サービスの紹介などを含めたライフプランニングを行い、ご本人やそのご家族がよりよい生活をするためのコーディネートも行います。

また、青年海外協力隊派遣を積極的に行い、発展途上国の医療・福祉の発展に貢献するとともに、各種障害者団体の活動を支援しています。

# こころ豊かに生き生きと

作業療法って、ご存知ですか？



作業療法 (Occupational Therapy=OT)

「作業=Occupation」は生きていくための必要な条件としてとらえられ、長く使われてきた言葉です。「何かをしている、何かをして時間を占める」ということを意味しています。生きていくための必要な条件としての行為とは、労働、日常生活上の行為だけでなく、趣味、遊び、創造活動など、人が人として生きていくために行うあらゆる活動を指します。それら全てが作業療法の治療手段であり、達成目標となる「作業」です。

これにちなみ、OT協会広報誌は、ラテン語で「作業」を意味するOperaと名づけました。明るい語源にふさわしく、作業療法に関する面白くてためになる読み物・インタビューによる親しみやすい紙面づくりを目指しています。

**JAPAN** 社団法人  
**日本作業療法士協会**  
JAPANESE ASSOCIATION OF OCCUPATIONAL THERAPISTS

事務局／東京都台東区寿1-5-9 盛光伸光ビル  
TEL:03(5826)7871 FAX:03(5826)7872  
ホームページアドレス <http://www.jaot.or.jp>